

ウォーターサーバー取扱説明書

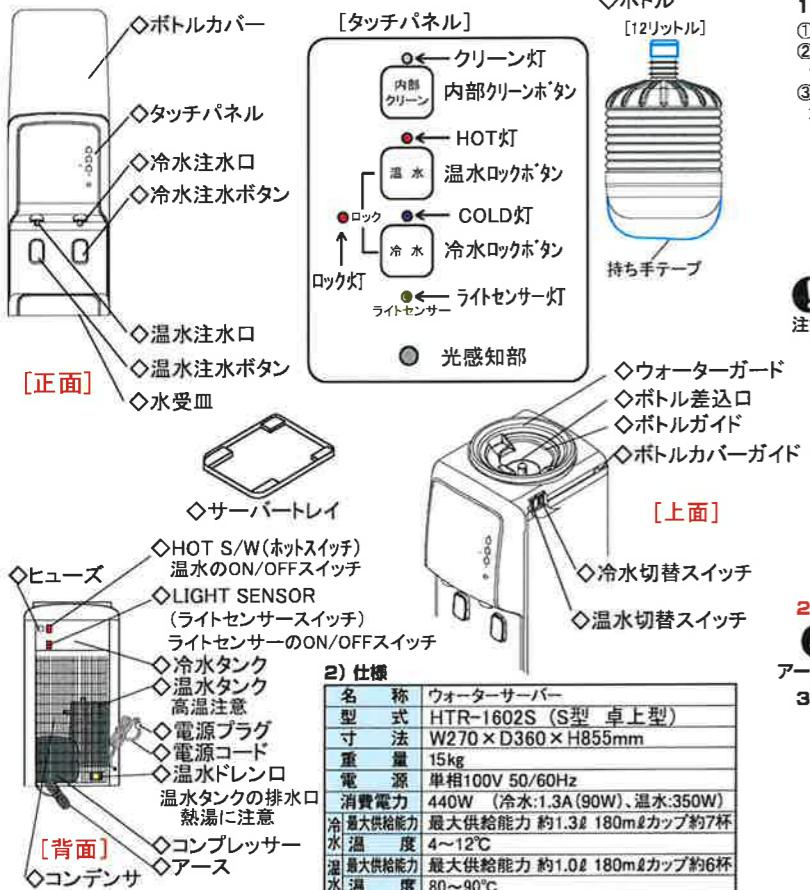
型式: HTR-1602S
(S型)
卓上型

ウォーターサーバーからは熱湯が出ます。
お子様などのヤケドにつながる恐れがありますので
取扱いには十分ご注意ください。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。お読みになった後も、
この取扱説明書はこの製品をご使用になる方が
いつでも見られるように大切に保管して下さい。

2018.07 (5)

2 各部の名称と仕様



※冷水・温水の温度は、設置環境や使用状況により、若干異なる事があります。
※仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。
■輸入元: AW-ウォーター株式会社 ■生産国: 大韓民国

1 安全上の注意事項

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、次のような区分表示をしています。いずれも安全や衛生に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しくお使い下さい。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	ご使用時のお願いです。

絵表示の例

禁止	左記の記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は「禁止」)が描かれています。
注意	左記の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は「注意」)が描かれています。

2 設置上の注意事項

注意	設置面が水平で丈夫な所に設置してください。 設置面が安定していないと、転倒や落下により事故やケガ、感電、火災、火傷の恐れがあります。
禁止	延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。 異常発熱し、発火や感電することがあります。
注意	ウォーターサーバーの背面と側面は10cm以上あけてください。 冷却性能確保のため必要です。壁が汚れたり、火災や故障の原因となります。
禁止	電源は単相100Vで定格15A以上の専用コンセントを単独で使用してください。
禁止	電源コード、電源プラグの破損・加工をしないでください。 東ねたり無理に曲げたり、引っ張ったり物を乗せたり、衝撃を与えるたりして、無理な力を加えない、傷つけない、加工しない。感電、ショート、火災の原因になります。
注意	必ずアースしてください。 故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。
アース接続	

3 設置方法

1) ウォーターサーバーの設置

- ①サーバートレイとサーバーを箱から出してください
- ②コンセントのある場所にサーバートレイをセットしてください。
角が丸い方が前側です。
- ③サーバートレイのガイド穴にサーバーのゴム脚を合わせて載せてください。



注意 まだ、コンセントに電源プラグを差込しないでください。

2) アースの取り付け

- アースは万一の感電事故を防ぐためのものです。安全のため必ず取り付けてください。

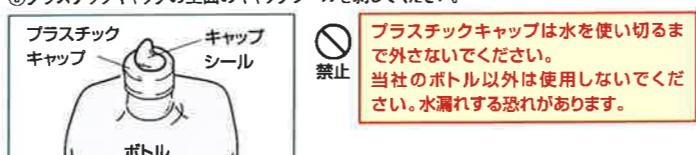
3) ボトルの準備

- ①ボトルを箱から出してください。
禁止 ボトルに傷が付いて水漏れする恐れがあります。

②ボトルの表面を清潔な乾いたキッチンペーパー等で乾拭きしてください。

③プラスチックキャップの上面のキャップシールを剥してください。

注意 プラスチックキャップは水を使い切るまで外さないでください。
当社のボトル以外は使用しないでください。水漏れる恐れがあります。



4) 注意 (設置上の注意事項)

禁止	屋外や温湿度の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる場所、直射日光があたる場所やストーブなど発熱物のそばには設置しないでください。 使えなくなったり、機器の性能が得られなかったり、機器の寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
禁止	サーバーやボトルの周囲ににおいの強いものを置かないでください。 水の風味に影響を及ぼすことがあります。
禁止	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所やシンナー等の揮発性の高い溶剤等を機器の近くで使用しないでください。
禁止	爆発や火災の恐れがあります。
注意	電気プラグにホコリがないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。 ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の恐れがあります。
禁止	ホコリっぽい場所や不衛生な場所には設置しないでください。 水質が変化してそれを飲用した場合、体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。

5) 警告 (使用上の注意事項)

注意	電源プラグは濡れた手でさわらないでください。 感電の原因になります。
禁止	お客様ご自身では絶対に分解したり修理改修は行わないでください。 異常作動したり、感電や漏水の原因となります。
注意	電源プラグのホコリは定期的に取ってください。 ホコリがたまると火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
禁止	焦げ臭い等の異常がある場合は、電源プラグを抜いて、TOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。
注意	電源プラグのホコリは定期的に取ってください。 ホコリがたまると火災の原因になります。電源プラグを抜いて、TOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。
禁止	幼児や正しく操作することが困難な人が、一人で操作しないでください。 火傷や感電の恐れがあります。
禁止	背面の放熱部から指や棒を入れないでください。 高温タンクで火傷したり、感電の恐れがあります。
禁止	電源コードを持って引っこ抜くとコードが破損し発熱、火災、感電の恐れがあります。
禁止	ボトルに他の水や液体を入れたりそのボトルを機器に装填して使用しないでください。 不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
絶対禁止	

6) 注意 (使用上の注意事項)

禁止	他のボトルは使用しないでください。 このウォーターサーバーは当社ボトル専用です。水漏れの原因や不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
注意	2週間以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-737-113)に連絡してください。
注意	1ヶ月以上使用しない時はTOKAIお客さまセンター(0120-737-113)にメンテナンス(有償)を依頼してください。
注意	ボトルの差込口周辺や冷水・温水蛇口の出口部は時々清掃してください。 不衛生になると臭いや雑菌発生の原因となり、それを飲用した場合は体調に悪影響を及ぼす恐れがあります。
禁止	背面の温水ドレン口のキャップを緩める(外す)と熱湯が出て火傷をする恐れがあります。 水抜き以外では絶対に触れないでください。 水抜きの場合には、電源を抜いて60分以上放置してから実施してください。
高温注意	温水を出す時は火傷に注意してください。

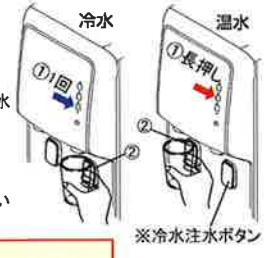
7) お願い

注意	雷が発生はじめたら、すみやかに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源抜く 雷により一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだ電源プラグを差し込んでください。
注意	空になつたボトルはお住まいの地域の条例に従つて廃棄してください。 ●ボトル本体 : PET ●プラスチックキャップ : その他のプラスチック ●ボトル底のテープ : その他のプラスチック

8) ご使用方法

1) 冷水の出し方

タッチパネルの「冷水」を1回押してから(1)、冷水注水ボタンを押します(2)。



2) 温水の出し方

タッチパネルの「温水」を3秒以上長押ししてから(1)、温水注水ボタンを押します(2)。温湯が出ますのでご注意ください。



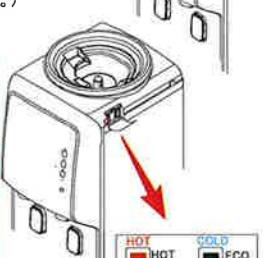
3) チェックポイント

操作後、5秒間は再度注水ボタンを押すと熱湯が出ます。
※HOT灯点滅中に冷水注水ボタンを押すと直ちに湯が出ない状態にすることができます。

注意	・温水を出す時はヤケドに注意してください。 ・小さなお子様には使用させないでください。ヤケドの恐れがあります。 ・ボトルが空になると、冷水は出ますが、温水は出なくなります。 ・ボトルを交換すると、すぐにお湯が出ます。
-----------	---

4) チャイルドロック

タッチパネルの「温水」と「冷水」を5秒間長押しすると、全ての操作ができなくなります。解除する時はもう一度「温水」と「冷水」を5秒間長押ししてください。(ロック中はロック灯が赤で点灯します。)



5) 温水・冷水切替スイッチの使い方

温水切替スイッチ HOTモード ECOモード

出湯温度 80~90°C 60~70°C

HOT灯の色 赤色 緑色

最大連続取水量 温水 約1.0L(180mlのカップ約6杯)

冷水切替スイッチ ECOモード COLDモード

運転モード 弱冷(4~12°C) 強冷(3~8°C)

COLD灯の色 緑色 青色

最大連続取水量 冷水 約1.3L(180mlのカップ約7杯)

- 外出時や就寝時にECOに切替ると電気代の節約になります。
- 温水切替スイッチをECOからHOTに変更すると、約15分で温湯が設定温度になります。
- 能力を超えて取水すると設定温度が得られなくなります。しばらくしてからご使用ください。



6) HOT S/W(ホットスイッチ)について

ご使用時に特にご注意いただきたいこと

1) 乳幼児がウォーターサーバーに近づかないようにご注意ください。



ウォーターサーバーに乳
幼児が近づかないように
してください。

※火傷の恐れが
あります。

2) 冷水や温水を受ける容器は、蛇口の真下で出水口から少し距離をあけて受け下さい。出水口に指や食品が触れないように注意してください。

・出水口に容器が近すぎると、出水口が容器内の液体に浸かってしまい、不衛生になります。
注水の際に、コーヒー、紅茶、アルコールなどが跳ね返って付着し、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。

・指や食品に付着している雑菌が出水口に付着して、注水される水が不衛生になります。



3) 水受け皿に容器を置いて、温水や冷水を出さないでください。

容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。
容器は手を持ってお使いください。

4) ボトルの取り外し方。

①ボトルカバーを外してください。

②ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。
中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使いつけてから抜いてください。

③ボトルを外す時は必ず真上に一気に引き上げてください。
ボトルの中栓がボトルを引き上げることにより、自動的に締りますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。

④ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が帰まらないことがあります。
ボトル内に水が残っている場合は漏れることができます。

⑤機器の構造上わずかですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。

6 お手入れ方法と日常点検

2) 内部クリーンについて

内部クリーンはウォーターサーバー内の冷水タンクに温水を循環させて、殺菌を行い、内部の環境を衛生的に維持します。週に1度を目安にご使用ください。

①操作方法

・ボトルに水が残っていることを確認してください。(水がないと殺菌になりません。)
・タッチパネルの「内部クリーン」を3秒以上長押しします。
・クリーン灯が点灯し、温水循環が開始します。
・内部クリーンを開始すると温水は約2時間、冷水は約4時間使用できなくなります。
・作業終了後、冷水の温度が10°C以下になると、注水できるようになります。
②中断方法(内部クリーンを途中で中止する場合)
・タッチパネルの「内部クリーン」を3秒以上長押しします。
・冷水の温度が10°C以下になると、注水できるようになります。

内部クリーンを2週間以上実施しないと、クリーン灯が点滅します。内部クリーンを実施してください。

3) 長時間使用されない場合のお手入れ

お願い

ウォーターサーバーを長時間使用されない場合は、水が不衛生になる可能性があります。
2週間以上使用されない場合は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)に連絡をしてください。
1ヶ月以上使用されない場合は、サーバーメンテナンス(有料)を依頼して下さい。

作業を行なう前に必ず背面のHOT S/W(ホットスイッチ)をOFFにし、電源プラグを抜いてください。ウォーターサーバーや手が濡れている状態での作業はしないでください。

※この作業は必ずやかに行なって下さい。

①ウォーターサーバーからボトルを外す。

(5-4) ボトルの取り外し方(参照)

②熱湯が冷めるのを待つ(電源を抜いてから60分以上)。

火傷する恐れがありますのでご注意ください。

③温水蛇口からカップ等に水を汲み、冷めているか確認する。

④冷水蛇口をバケツ等で受け、冷水蛇口を開き、冷水を完全に抜く。

⑤背面の温水ドレン口をバケツ等で受け、温水ドレン口のキャップを外し、温水を完全に抜く。

熱湯が出ることがありますのでご注意ください。

⑥温水ドレン口を開める。

⑦ボトル差込口、冷水蛇口、温水蛇口、水受け皿等の掃除を行なう。

(7) お手入れ方法と日常点検(参照)

⑧ウォーターサーバー上面のウォーターガードを食品用ラップ等をかけ、ホコリやゴミが入らないようにする。

(ラップフィルムがずれないようにテープ等で固定する)

⑨蛇口も食品用ラップ等でくるむようにしてホコリが付着しないようにする。

⑩直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。



5) ボトルの取り付け方。



ボトルは大変重いのでお取り扱いにはご注意ください。

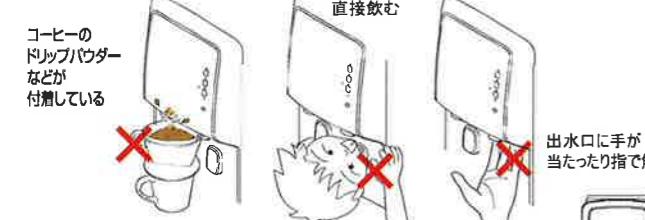


※火傷の恐れが
あります。

2) 冷水や温水を受ける容器は、蛇口の真下で出水口から少し距離をあけて受け下さい。出水口に指や食品が触れないように注意してください。

・出水口に容器が近すぎると、出水口が容器内の液体に浸かってしまい、不衛生になります。
注水の際に、コーヒー、紅茶、アルコールなどが跳ね返って付着し、カビや雑菌の発生原因となる恐れがあります。

・指や食品に付着している雑菌が出水口に付着して、注水される水が不衛生になります。



3) 水受け皿に容器を置いて、温水や冷水を出さないでください。

容器が倒れ、床面が濡れたり火傷をしたりする恐れがあります。
容器は手を持ってお使いください。

4) ボトルの取り外し方。

①ボトルカバーを外してください。

②ボトルの中栓が外れて浮いていないことを確認してください。
中栓が外れている状態でボトルを抜くと水が漏れてしまいます。この場合は水を使いつけてから抜いてください。

③ボトルを外す時は必ず真上に一気に引き上げてください。
ボトルの中栓がボトルを引き上げることにより、自動的に締りますので、ボトル内に水が残っていても水は漏れません。

④ゆっくりボトルを引き抜くと中栓が帰まらないことがあります。
ボトル内に水が残っている場合は漏れることができます。

⑤機器の構造上わずかですが、水がボトル内に残りますのでご了承をお願いします。

チェックポイント

- ①温水蛇口から温水が出なくなると
- ②新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

①温水蛇口から温水が出なくなると
②新しいボトルに交換するとすぐに温水が出てきます。

6 ボトルのお取り扱いについて

ボトルは使い切りの容器です。

絶対に市販のミネラルウォーターなどの飲料を入れて再使用しないでください。

1) 賞味期限

①未開封の賞味期限はボトルキャップの側面に印字されています。開封後はなるべく早くお飲みください。



2) 保管について

①ボトルは箱に入れたままの状態で保管してください。保管の際には、箱の上下に注意してください。
禁止

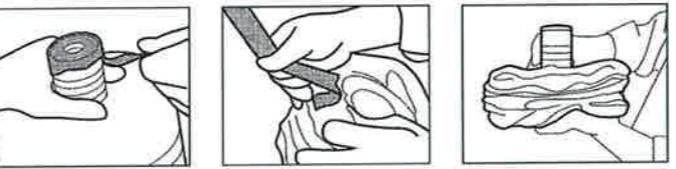
②保管にあたっては、室内で温度変化の少ない清潔な場所で保管してください。

③次のような場所での保管は、絶対にしないでください。
●屋外、ベランダなど直射日光や雨の当る場所
●高湿多湿になる場所
●においの強いもの(台所油や芳香剤など)の近く

3) 使用済みのボトルについて

ボトルの廃棄方法(ボトルはリサイクルできるPET樹脂です。)

- ①ボトルキャップの取り外しは切り込みに沿って裂きながら外してください。ボトルキャップはプラスチックごみとして廃棄してください。
- ②ボトル底部のテープは粘着部分を引き剥がしてください。テープはプラスチックごみとして廃棄してください。
- ③ボトル本体は、使用済みのつぶれた状態で、お住まいの地域の条例に従って、廃棄してください。



8 異常・故障かな?と思ったら

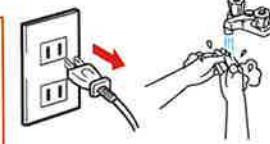
現象	確認事項	対処方法
1.冷水・温水が出ない (水量が少ない)	①ボトルが空になっていませんか ②エア抜きができるですか ③チャイルドロックモードになっていませんか ④内部クリーン中ではありませんか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[4.ご使用方法]の『3)チャイルドロック』をご覧下さい ⇒[7.お手入れ方法と日常点検]の『2)内部クリーンについて』をご覧ください
2.冷水も温水もぬるい	①電源プラグが抜けていませんか 正面のランプが点灯していますか ②停電ではありませんか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒通電されるまで待つ
3.冷水になるが温水 (熱く)にならない	①HOT S/W(ホットスイッチ)がONになっていますか HOT灯が点灯していますか ②供給能力以上に使用していませんか ③直前までサーバー周辺が暗くなっていましたか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[2. 各部の名称と仕様]をご覧ください ⇒[4. ご使用方法]の『5)LIGHT SENSOR(ライトセンサースイッチ)について』をご覧ください
4.温水になるが冷水 (冷たく)にならない	①ウォーターサーバーの周辺のスペースは開けられていますか ②背面部のコンデンサにホコリが付着して熱がもっていませんか ③直射日光が当たっている時は当たらない場所に移動させてください ④コンプレッサーの音は普段と同じですか	⇒[3. 設置方法]をご覧ください ⇒[7. お手入れ方法と日常点検]をご覧ください ⇒直射日光が当たっている時は当たらない場所に移動させてください ⇒いつもと違う時は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください
5.水が漏れている	①ウォーターサーバーの下部や周辺から水が漏れていますか ②蛇口から水が漏れていますか ③ボトルから水が漏れていますか ④温水ドレン口のキャップから水が漏れていますか	⇒[7. お手入れ方法と日常点検]をご覧いただき、水抜きを行い、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください ⇒蛇口から水が漏れていますか ⇒ボトルから水が漏れていますか ⇒温水ドレン口を閉めても水漏れが止まらない時は、TOKAIお客様センター(0120-737-113)までご連絡ください

7 お手入れ方法と日常点検

ウォーターサーバーの衛生管理で一番重要なことは、普段のお客さま自身によるお手入れです。特にペットを室内で飼っている場合、人の出入りが多い場所に設置している場合は、特にお手入れを頻繁に行ってください。

1) 普段のお手入れ

お手入れの前にウォーターサーバーの電源プラグを抜いて、手を洗ってください。
濡れた手でお手入れはしないでください。
お手入れには台所用アルコール除菌剤と清潔なキッチンペーパー等を使ってください。



①頻繁に行っていただくお手入れ

a.ボトル差込口及び周辺(ボトル交換時)

- ボトル差込口に水が溜まっていたり、汚れが付着していると雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 水がたまつたままボトルをセッティングすると、水が飛散したり、思わぬ場所から漏れ出る恐れがあります。
- ボトル交換のたびに、ボトルガイドを取り外して水がたまつないかご確認いただき、水分を取り除いてから、台所用アルコール除菌剤をキッチンペーパーなどに吹き付けて消毒し、拭き取ってください。



b.冷・温水蛇口(一日一回以上)

蛇口の吐水口は外して洗うことができます。



c.水受け皿(一日一回以上)

食器洗い用中性洗剤でスポンジ等を使い洗ってください。



d.定期的に行っていただくお手入れ

a.本体外面とボトルカバー(一週間に一回程度)

清潔なタオル等で乾拭きしてください。
汚れがひどい時は食器洗い用中性洗剤を使用して拭きとってください。研磨剤入り洗剤で磨かないでください。

b.背面部(コンデンサ)(一週間に一回程度)

ウォーターサーバーの背面部は放熱部となっています。
ホコリが付着すると冷却能力が低下します。



c.電源プラグ(一週間に一回程度)

電源プラグの刃先にホコリが付着するとトラッキング現象が起こり、発煙発火があります。掃除機やブラシ等でホコリを取ってください。



お願い 安全にお使いいただくために以下の項目も確認してください。

- ①電源コードや電源プラグが変色したり、異常にになっているか。
- ②電源コードに傷や変形が無いか。
- ③焦げくさい臭いがしないか。
- ④電源コードが重いものの下敷きになっていないか。
- ⑤電源コードが跳ね返るかならないか。
- ⑥電源コードの刃先にホコリがたまっているか。
- ⑦温水ドレン口や各蛇口から水漏れないか。
- ⑧ウォーターサーバーの下部や周辺から水漏れしていないか。
- ⑨以上のような状態があった場合は、感電事故や火災の原因になりますので特にご注意ください。
- ⑩直射日光や雨の当たる場所は避けて、換気の良い室内に保管してください。

個人情報の利用目的

弊社(販売代理店)はお客様からお預かりした個人情報の適切な保護管理に努めるとともに商品、サービスなどの販売、工事の実施、保守点検等に関するアフターサービス、新商品・新サービスのご案内などに利用させていただきますので、予めご了承ください。また、お客様により良いサービスを提供するため、グループ会社等と共に利用を行う場合がございますので、併せてご了承ください。なお詳しくは弊社(販売代理店)にお問合せください。